



学校教育目標

心身ともに健康で、個性豊かな
実践力のある子どもの育成

保護者の方々の評価から！

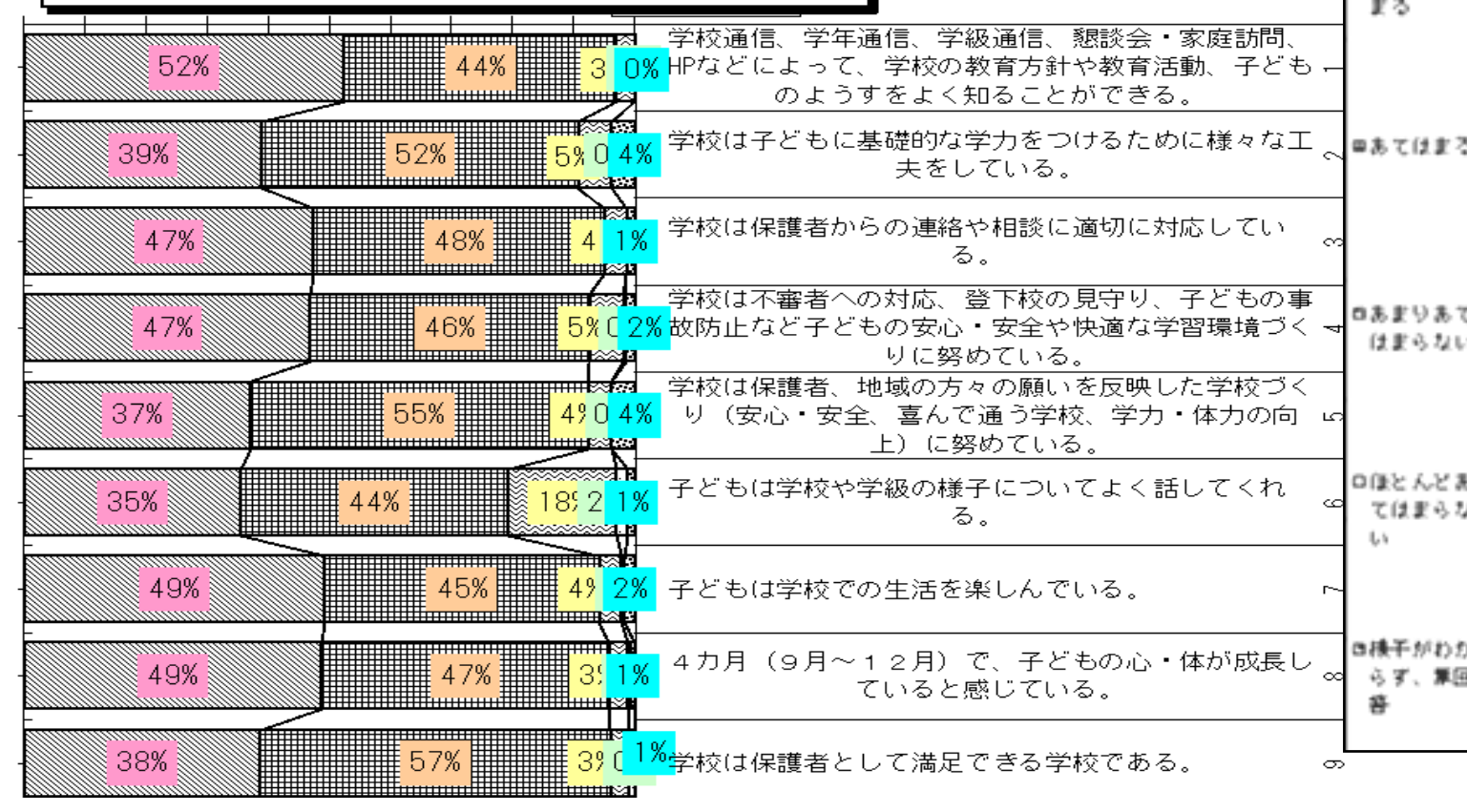
前号に続いて、保護者の方々からの評価結果のお知らせです。前号の紙面でもお伝えしましたが、保護者のみなさんには、ご多忙の折、評価をする時間をとっていただき、感謝申し上げます。
(回答は、533名/569名中の方にいただきました)重ねてありがとうございます。

- めざす 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子
 子ども像 「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子
 「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子
 めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

全学年保護者アンケート結果冬前



子どもたちの学習面や生活面、学校の指導・対応に関して、全体にとっても高い評価をいただいたことに感謝いたします。

1～9までの質問肢に「よくあてはまる」「あてはまる」を選んでいた合計が、6をのぞいて90%を超える値です。7月の評価に続き、本当にありがたいことと思う反面、身の引き締まる思いでいます。

特に「1 情報公開の面」や「3 学校は保護者からの連絡や相談に適切に対応している」「7 子どもは学校での生活を楽しんでいる」、「8 子どもは心・体が成長していると感じる」の問いかけに、95%以上、またはそれに近い値の肯定的な回答をしていただきました。4月からもふくめ、運動会・文化祭など大きな行事のあった9月～12月の取組を温かく受け止め、後押しをしていただいていると感じました。担任始め、先生方の指

導や学級・学年の取組を評価していただいているものと感じ、今の歩みを止めずに、3月まで一層努力していきたいと思っています。

次に、今まで課題となってきた「2基礎的な学力をつけるために様々な工夫…」や「4不審者への対応、登下校の見守り、子どもの事故防止など子どもの安心・安全や快適な学習環境づくり」「5保護者、地域の方々の願いを反映した学校づくり」に関しても、おおむね高い評価をいただいています。しかしながら、2に関しては、毎日行っている授業での工夫やその成果をもっともっと保護者・地域のみなさんにお知らせしていく必要があると各学年で再認識しました。9月にも同じような結果となりましたが、まだまだ、私たち職員の取組と成果のPR不足なのだと実感しました。来年度への課題にしたいと考えています。7の問いかけに関しては、前号『子どもの評価結果』と同様94%の好評価になりました。めざす学校像の一つ『子どもが喜んで通う学校』へ向けて、保護者のみなさんと連携と協力を重ねながら、年度末に向けて、一層がんばりたいと改めて思っています。

今後も改善・継続していくことは、大きく二つ。一つは学力の向上です。基礎的な学力を一人一人に身につけさせていくだけでなく、課題を見つけ、その解き方や理由を考える力・伝える力も一層向上させていきたいと考えています。特に、その学年で習得すべき基本的な学習内容を的確に理解できるように取り組んでいかねば、と思っています。この2年間努めてきましたが、まだまだです。二つ目は子どもたち同士のつながりの醸成です。これは学習活動や運動会や文化祭等の行事を通し仲間と取り組む中でより温かく、仲間を知り、そのつながりが太くなれるように取り組んできました。7や8の項で、保護者のみなさんが評価していただいているように、子どもたち自身の成長や周りとのつながりが伸び・広がっていることが大きな財産です。これらをさらに次の学年へとつなげていきたいと考えています。一方、「6子どもは学校や学級の様子についてよく話してくれる」は、9つの問いの中では低い評価でした。前号（子どもたちの評価より）の紙面でも述べましたが、子どものタイプや性格もありますが、ぜひ保護者の方々から話かける、一言かける機会を今まで同様、多くしていただければ、と願っています。

最後に、1～8を含む総括的な評価としての9の問いに、「よくあてはまる」「あてはまる」合わせて95%の評価をしていただきました。改めて感謝いたしますとともに、3月の年度末まで子どもたちの安心・安全と上記2つの点を中心にがんばりたいと職員全員考えています。明野小学校の職員51名は『一つのチーム』です。私たち職員のつながりが太く、強くなれば、それだけ、子どもたちのつながりや成長も豊かなものになると信じ、取り組んでいます。9月以降も、強力なご支援ご協力をよろしくお願い致します。

県健康福祉部感染症対策課よりの毎日の
お知らせで、「県内のインフルエンザが
インフルエンザ要注意！ぜひご家庭でも予防対策を！
注意報レベルに上がった」（今週初め1/16）とありました。これは、1/2～8までの第一週で、県内のインフルエンザ定点医療機関72の一医療機関にかかる患者数が12.6人となり、国立感染症研究所感染症疫学センターが「注意」と定める10人を超えた値となりました。今のインフルエンザ・ウィルスは、すべてAH3（香港）型です。

先週1/9～15までの第二週では、伊勢市内の定点医療機関22で、243名のインフルエンザ患者（県内1291名）、48名の感染性胃腸炎の患者（県内239名）が発生しています。この時点で、大流行＝要注意の段階になってきています。

学校でも、各クラスで絶えず言葉かけをしています。ご家庭でも

○外からもどったときは、うがいと手洗いを必ず…（手洗いは20秒）！

ウィルスは湿気に弱い！！～部屋を乾燥させないように。

○大勢の人がいるところでは、「マスク」をつけよう！

○規則正しい生活をして、よく食べ、よく寝るようにしよう！

<編集後記>

人が人を教える…教師の仕事はそうですが、原点は「人を大切にすること」だと私は常々思っています。そう思って38年教師生活を過ごしてきました。また、小中学校教育の基本理念は、「ひとづくり」「夢づくり」「思い出づくり」であると信じています。子どもたちには、一人のひととして生きることの大切さ、夢を育むこと・追求することのすばらしさ、多くの思い出を少しでも与えたいですね。

